

教皇様のおことばを伝えるために、定期刊行物発行を精道教育促進協会にお願いしてから、早くも丸五年の歳月が経ちました。その間、発行者にお寄せくださった大勢の方々からの物心両面のご援助に対し心から御礼申しあげます。

深い内的生活を支えとして教皇職遂行のために精力的な活動をお続けになる教皇様、その教皇様にとって子供である私たち一人ひとりの祈りと犠牲、そして教皇様のお教えに対する忠実こそ、人間的にも超自然的にも、大きな力と慰めのもとになります。

創刊六年目に入る『教皇様の声』の購読者が殖え、さらに大勢の方々が地上における甘美なキリストの教えを信仰の糧として十分受けられんことを願うと共に、皆様方すべてに、私の祝福を送ります。

昭和六十年五月十三日

祀機印

星脇修次郎